

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産……………定率法

無形固定資産……………定額法

(2) 引当金の計上基準

①賞与引当金……………従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込み額のうち当期に対応する金額を計上している。

②退職給付引当金……従業員退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

③役員退職慰労引当金……役員退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労金等の支給基準に関する内規に基づく当期末における要支給額を計上している。

(3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。